

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.149

8 | 9
2019



©Aurélië Lamachère

CREATOR'S VOICE 168
アレクサンドル・デスプラ
オペラ「サイレンス」

音楽堂アフタヌーン・コンサート 2019-2020
佐藤俊介とオランダ・バッハ協会管弦楽団
オペラ「カルメン」がもっと楽しくなる！多彩なイベント

隔月刊：奇数月15日発行

音楽家が台本を考え、演出も演奏家が手がけました。つまり、このオペラでは本当に音楽が中心となっているのです。

開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト ボーダーレス室内オペラ/川端康成生誕120周年記念作品 「サイレンス」

神奈川県立音楽堂

アレクサンドル・ デスプラ 作曲家



「サイレンス」は、アカデミー賞作曲賞、グラミー賞などを受賞した映画音楽作曲家アレクサンドル・デスプラが初めて作曲したオペラである。今年の2、3月、ルクセンブルクとパリでの初演を経て、2020年1月には、神奈川県立音楽堂とロームシアター京都で日本公演が行われる。原作は川端康成の短編『無言』。大の日本好き&日本通ということからも、細やかな感性のデスプラが描く川端の世界に興味をそえられる。日本の読者に向けて、本人が公私にわたる長年のパートナー、ソルレイ（ドミニク・ルモニエ）とのコラボレーションでもあるこのオペラについて語ってくれた。

映画音楽家としてのオペラ

——今回のオペラを書くことになったのはどういう経緯からですか。

実は大分前から、ソルレイと映画音楽から離れてみたいと話合っていました。もちろん、映画音楽には常に情熱を持っていますし、その作曲は私の日常生活

活に組み込まれているわけですが、やはりそこにはコンサート用の音楽や舞台音楽にはない制約があります。そしてこの短編小説を見つけた時、小規模の作品、短い形式で少ない登場人物による胸を打つ話、しかも、私たちの個人的な出来事〔注：ヴァイオリニストであるソルレイの片手が不自由になったこと〕に重なる物語の、極めて詩的で控えめな舞台作品が実現可能だと感じたわけです。私は作曲においても、華々しさよりも、慎み深い控えめさが好きなので。

——ソルレイさんとの共同作業で作られたのですよね。

言葉ではなく音楽がオペラ全体を導いていくよう、作曲と並行しながら台本をソルレイと一緒に考えていく行程はワクワクして楽しかったです。通常、台本は既に書かれているか、コラボレーションといっても作家が台本を書くのであって、音楽家の手によることは稀です。そして演出も演奏家であるソルレイが手がけました。つまり、このオペラでは本当



アレクサンドル・デスプラ
Alexandre Desplat

グラミー賞、ゴールデングローブ賞で音楽賞を多数受賞している注目の作曲家。2005年、「真夜中のピアニスト」でベルリン国際映画祭銀熊賞とセザール賞を受賞。2006年の「クイーン」ではアカデミー賞にノミネートされた。2008年の「ベンジャミン・バトン 数奇な人生」や2010年の「英国王のスピーチ」でもノミネートされている。2014年の「グランド・ブダペスト・ホテル」でアカデミー賞を初受賞。最新作「シェイプ・オブ・ウォーター」はゴールデングローブ賞最優秀作曲賞、アカデミー賞作曲賞を受賞。その後も多数のノミネート、受賞を続けている。



©Aurélie Lamachère

に音楽が中心となっているのです。そのおかげで、私は安心して初のオペラ作曲に取り組みましたし、これが私がオペラでやりたかったことでした。ソルレイとは、昔からいつも、音楽についてアーティスト的な意見を交わしてきたという信頼感もあります。

日本との関係・日本的な要素

——原作は川端康成の短編ですね。

日本の小説を選んだ背景には、日本が日常的に私の暮らしの一部となっていることでもあります。合気道を習っていた少年時代から現在までずっと、日本とその文化を愛し続けています。家では日本の着物を着て、毎朝日本茶を飲んでいますよ。——特に日本のどこところが好きですか？

秩序、洗練、そして自然との近さですね。そのままの自然と、入念に受け継がれてきた伝統文化の精緻さが混ざり合っている。それは、美と完璧への情熱を持った職人の仕事などにも見られます。また日本の作曲家も好きですし、溝口作品をはじめ詩的な日本映画にも、そういった私の好きな側面があります。

——「サイレンス」では、ジャポニスムというわけではありませんが、かなり日本

的な要素がリアリスティックな形で見受けられました。

舞台全体は、私たちが夢想し新たに再構築して作り上げた日本、つまり私たちが愛し、身近に暮らす日本が投影されています。特に、ソルレイによるヴィデオは日本的な世界を表現しています。日本での撮影ではありませんが、出演者はみな日本人ですし、映像の撮影監督は永田鉄男です。それと同時にソルレイにとって重要だったのは、ジャポニスムを避けるということでした。例えば、舞台奥に配置され色とりどりの衣裳を着た器楽奏者たちは、色彩の点のように舞台を彩るとともに、幽霊や、自然に近い精霊のようなものとして、具体的ではなく抽象的な存在感を与えることを意図しています。もちろん私たちは川端の作品をリスペクトしていますので、日本的な要素も取り入れています。音楽でも例えば器楽アンサンブルは、3人のフルート奏者、3人のクラリネット奏者等として、3人ずつグループにする雅楽の楽器編成の方法にならっています。

——つまり、音楽にも日本的な要素を取り入れたわけですね。

そうです。楽器も、木管と弦楽、つまり木で作られたものですし、打楽器には太



開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト ボーダーレス室内オペラ/川端康成生誕120周年記念作品

「サイレンス」日本初演(フランス語上演/日本語字幕)

2020年1月25日(土) 14:00 神奈川県立音楽堂

原作:川端康成「無言」 音楽:アレクサンドル・デスブラ 台本:アレクサンドル・デスブラ/ソルレイ

演出:ソルレイ 美術・照明:エリック・ソワイエ 衣裳:ピエルバオロ・ビッチョーリ (VALENTINO)

指揮:アレクサンドル・デスブラ 演奏:アンサンブル・ルシリン *日本公演もデスブラ/ソルレイが指揮/演出となりました。

全席指定 一般6000円 シルバー (65歳以上)5500円 学生(24歳以下)3000円

*車椅子席あり(付添1名無料) *未就学児入場不可 託児サービスあり *開場開演前 無料シャトルバスあり

単独券 8月31日(土) KAme先行 9月7日(土)一般発売

◎音楽堂室内オペラ・プロジェクト セット券 好評発売中

19000円(「サイレンス」一般券+「シッラ」S席の組み合わせ)

*詳しくは音楽堂HPをご覧ください。

www.artspress.jp



このマークの記事にはWEB版だけの+αコンテンツも!

鼓もあります。そういった意味で、一種の日本へのオマージュであり、日本は作品のそこかしこに存在しています。時折、この作品では非常にゆくりで抑制されたテンポを使いますが、そこでは雅楽の始まりの宙に浮かんでいるような、引き延ばされた荘厳な時間を再現しようと考えました。また、器楽奏者が歌手の歌う旋律を同時に奏することも多く、背後に見える幽霊のような役割を果たしています。

オペラのテーマ/ルシリンとの共演

——幽霊といえば、ソルレイによる「幽霊ヴァイオリン」が何度か聴こえますね。彼女がヴァイオリンの即興演奏を録音したものです。そこには、一種の目に見えない痛みや苦痛が感じられます。

——それは、このオペラのテーマである「表現手段を失ったアーティストはどう生きていくか」という問いにつながっているのでしょうか。

もちろんです。表現手段を失ったアーティストは、どう表現していくか、どうコミュニケーションしていくか、というのが、芸術家は芸術を通してコミュニケーションするからです。私は言葉よりも音でコミュニケーションします。だからこそ、今までオペラを作曲しなかった。音楽と

ともに言葉を使うというのは、私にとつて、ワンステップ余計(笑)、だからです。この短編のように、アーティストとして表現手段を失うのは、非常に耐え難い傷となります。もう、芸術的に何も生み出すことができなくなってしまうからです。それは、ソルレイがもはや以前のようにはヴァイオリンを演奏できなくなってしまう、基本的にはヴァイオリニストであることをやめた状況と重なるのです。

——アンサンブル・ルシリンとの共演は、どのように決まったのでしょうか。

偶然ルシリンの演奏会の後にメンバーたちと一緒に飲みに行くことがありまして。そこでリーダーのギー・フリッシュから彼らが演奏できるような楽曲がないか聞かれ、その時はちょうど良いものがあったのですが、その後この企画が持ち上がった際に彼らと再会し「ルシリンのために作曲できるが演奏してくれるか」と打診しました。そして川端の短編と私の企画書を渡したところ、すぐに了解が得られ、そのうエルクセンブルク大劇場(初演となった劇場)を紹介してくれました。つまり、ルシリンは最初からこのプロジェクトに参加している重要な協力者です。

——最後に、デスブラさんにとつての「サイレンス(沈黙)」について語ってください。

まったくの無音は存在しません。必ず何かしらの物音がしています。つねに空気は振動していて、心臓の鼓動や、軋みや擦れなどがすかかな音がある。静寂の中ではむしろ、こういった物音の存在感が増します。その絶え間ないせめぎ合いの作用の中に沈黙を見出せるのです。沈黙とは私たち自身が作りだすものです。例えば、私が今書いた声楽パートと器楽パートの中にも、沈黙は含まれています。音が止むから沈黙というわけではなく、沈黙は音楽の一部なのです。私にとっては茶道でお茶碗を手取る時「取る手は軽く置く手重かれ」という教えこそが「サイレンス(沈黙)」と言えます。

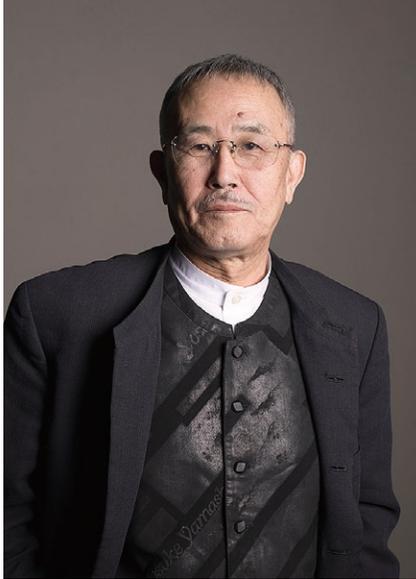
my hall myself

私にとつての神奈川県立音楽堂

今まで、京都と東京にしか行つたことがありません。鎌倉にも行きたいですし、逗子には三島由紀夫が住んでいましたね。ソルレイは、今回の演出で三島と川端の文通も参考にしました。鎌倉の川端邸もぜひ見てみたいです。神奈川で皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。

取材・文・柿市如





山下洋輔

©Akihiko Sonoda



山田和樹

©平館 平

音楽堂アフタヌーン・コンサート

神奈川県立音楽堂

極上の音楽と魅力あふれるトークとともに、午後のひとときを楽しむ
音楽堂アフタヌーン・コンサート 2019-2020

1年間の改修工事を経ていよいよ音楽堂がリニューアル・オープン。これまで午後のひととき、極上の音楽、出演者の軽妙なトークをお楽しみいただいていた「音楽堂アフタヌーン・コンサート」が3回のシリーズでパワーアップして音楽堂に帰ってきます。

登場するのはいずれも実力も魅力も抜群の日本を代表するアーティストたち。

まず夏は山田和樹指揮 東京混声合唱団。極上のハーモニーでなつかしい日本の歌や世界の知られざる歌、現代曲、さらに楽しいお話まで楽しめる。毎回大好評をいただいている東京混声合唱団ですが、今回はジャズの世界をお楽しみください。

秋は古楽アンサンブルアントネットロ「没後500年レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」で華やかかなりし古の世界にご案内いたします。常に最先端の古楽グループとして海外からも高い評価を受けるアントネットロが、今年没後500年を迎えるレオナルド・ダ・ヴィンチをテーマに、「500年に一度」の一大プロジェクトに挑戦。ミラノ公の御前で楽器演奏を行い、自ら設計した楽器を献上、さらにオペラをプロデュースするなど、数々の資料から垣間見える天才の音楽にまつわる軌跡を



森田花央里



東京混声合唱団

©青柳 聡



ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

©ノザワヒロミチ (CAPSULEOFFICE)



アントネッロ

音楽堂アフタヌーン・コンサート

●山田和樹指揮 東京混声合唱団

「合唱 meets ジャズ!」

2019年8月23日(金) 14:00

出演:山田和樹(指揮)

山下洋輔(独奏ピアノ)

森田花央里(ピアノ)

東京混声合唱団

緑区制50周年記念中学生合唱団

[プログラム]

山下洋輔×東混によるピアノと合唱のフリー対決!

森田花央里: Song Circle "Japonism and Jazz"

Sakura and Jazz / Akatonbo and Jazz 他

児童合唱組曲「くまモン」

(歌唱:緑区制50周年記念中学生合唱団) 他



●古楽アンサンブル アントネッロ

「没後500年 レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」

2019年10月12日(土) 14:00

出演:アントネッロ(古楽アンサンブル)

濱田芳通(リコーダー/コルネット)

石川かおり(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

西山まりえ(ヴァージナル/ルネサンス・ハープ)

天野寿彦(リラ・ダ・ブラッチョ)

濱元智行(パーカッション)

阿部雅子(ソプラノ)

中嶋克彦(テノール)

カメラータ・エテルナ(ルネサンスダンス)

聖和笙 和泉百合

●ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

2020年3月20日(金・祝) 14:00

出演:ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

平野公崇(ソプラノ)

田中拓也(アルト)

加藤里志(テナー)

本堂 誠(バリトン)

全席指定 一般3500円 学生(24歳以下)2500円

*車椅子席あり(付添1名無料)

*未就学児入場不可 託児サービスあり

*開場開演前 無料シャトルバスあり

魅力あるトークと音楽で人生を楽しむ午後のひととき「音楽堂アフタヌーン・コンサート」をシーズンを通してお得な価格でご鑑賞...「夏」「秋」「春」それぞれの季節の響きをまとめて味わう「音楽堂アフタヌーン・コンサート」セット券発売!

9000円(3公演一般券のみ)

紐解きます。当時のスタイルで演奏する器楽と歌、さらにルネサンスダンスでその謎に迫ります。

そして3月、音楽堂に春を告げるのはブルーオーロラサクソフォン・カルテット。パリで学んだサクソ界の天才・平野公崇が結成した4人組は、ソプラノからバリトンまでの多彩な音色のサクソフォンを自在に操り、その精緻で比類のないアンサンブル、美しいハーモニーで聴くもの見るものを虜にします。

3公演をお得に楽しめるセット券も好評発売中です。

山田和樹指揮 東京混声合唱団

今回は『ジャズ』をテーマに大展開! 巨匠・山下洋輔をゲストに迎え、合唱とピアノがフリージャズ真つ向対決! これは目が離せません。そして、才能あふれる新進気鋭の作曲家・森田花央里が、自らピアノも弾き、「さくら」や「赤とんぼ」をはじめお馴染みの曲を新編曲委嘱作品としてお届けします。「日本には、歴史的にも海外の芸術家を魅了してやまないJaponismがある。日本語が理解できない方にも、音だけでそれを感じられるような曲を目指したいと思っています」

とこう森田がアレンジする「Song Circle "Japonism and Jazz"」は、東京混声合唱団の伸びやかで艶のあるハーモニーと相まって、今までにない合唱の魅力が発見できることでしょう。

さらに森田作詩作曲による、児童合唱組曲「くまモン」で、今年、区制50周年を迎える横浜市緑区が結成した緑区制50周年記念中学生合唱団も登場。猛練習を重ねたフレッシュな歌声をお届けします。

最高に幸せになれるひととき、こころゆくまでお楽しみください!

開館65周年記念

音楽堂室内オペラ・プロジェクト

ボーダーレス室内オペラ

「サイレンス」

日本初演(フランス語上演/日本語字幕付)

2020年1月25日(土) 14:00 神奈川県立音楽堂

原作:川端康成「無言」

音楽:アレクサンドル・デスプラ

台本:アレクサンドル・デスプラ/ソルレイ

演出:ソルレイ

美術・照明:エリック・ソワイエ

衣裳:ピエルパオロ・ピッチョーリ (VALENTINO)

指揮:アレクサンドル・デスプラ

演奏:アンサンブル・ルシリン

*日本公演もデスプラ/ソルレイが指揮/演出となりました。

全席指定

一般6000円 シルバー(65歳以上)5500円

学生(24歳以下)3000円 *車椅子席あり(付添1名無料)

*未就学児入場不可 託児サービスあり

*開場開演前 無料シャトルバスあり

8月31日(土) KAME先行 9月7日(土) 一般発売



上下とも 2019年2月 ルクセンブルクでの世界初演の舞台 ©Silvia Delmedico

FOCUS



ボーダーレス室内オペラ「サイレンス」

日本初演(フランス語上演/日本語字幕付)

神奈川県立音楽堂



ノーベル賞作家、川端康成×アカデミー賞作曲家、アレクサンドル・デスプラの
コラボレーションが生み出すスタイリッシュで詩的な宇宙



「サイレンス」は今年生誕120周年のノーベル賞作家、川端康成の短編小説「無言」に題材をとり「真珠の首飾りの少女」「英国王のスピーチ」「アルゴ」「シエイブ・オブ・ウオーター」等数々の名作映画の音楽で知られ、アカデミー賞やゴールデン・グローブ賞に輝く作曲家、アレクサンドル・デスプラが手がけた初のオペラです。物語に登場するのは、脳卒中で言葉を失い、書けなくなってしまう、どこか川端自身を彷彿とさせる、年老いた「作家」、父の思いを代弁する献身的な娘「富子」、作家を見舞う弟子の「三田」、そして「タクシーの運転手」というごく限られた人物たち。そして姿は見えないのに、トンネルの中でタクシーに乗ってくるという形で

最も強い印象を残す存在——「女の幽霊」。精緻な演奏にファンも多いアンサンブル・ルシリンの10名がVALENTINOのクリエイティブ・ディレクターであるピエルパオロ・ピッチョーリのアジアを感じさせる鮮やかな衣裳をまとうて後方にまっすぐに並び、その前が「作家の家」家までの道のりと、舞台空間は三つに重なり想像の中でからみあいます。テレビのプロ野球試合の場面などを使いながらも不思議と詩的な映像と、シンプルでスタイリッシュなセット。現実と虚構、想像と追憶の合間を漂うような繊細で幻想的な音楽……。今年2月から3月にかけて行われた、ルクセンブルク大劇場とパリのブッフ・ドゥ・ノールの世界初演では独自の美学に貫かれたイマジネーションの宇宙が絶賛されました。

神奈川県立音楽堂が開館65周年を機に打ち出す「室内オペラ・プロジェクト」。2020年の幕開けを飾るフアビオ・ピオンアイとエウローパ・ガランテによるハロック・オペラ「シラ」と、生まれたばかりの本作の、時代を超えた二つの作品はまさに音楽堂の空間にぴったり。今年はセット券でお得に両方を体験することができま。ぜひ両方でご覧「室内楽の無限の面白さ」を感じて頂ければ幸いです。



佐藤俊介

©Marco Borggreve



©Melle Meivogel



佐藤俊介とオランダ・バッハ協会管弦楽団

神奈川県立音楽堂

音楽監督就任披露、日本公演! コスモポリタンな名手と伝統のアンサンブルが織り成す鮮やかなバッハと同時代の音楽の世界。

この秋、神奈川県立音楽堂に初登場する佐藤俊介とオランダ・バッハ協会管弦楽団。2018年この名門古楽合奏団の音楽監督に就任し、バッハ全曲演奏プロジェクト*に取り組む佐藤俊介は以下のように語ります。

オランダ・バッハ協会のメンバーは、知識と専門性、情熱を兼ね備え、純粋に音楽を人生と考える姿勢が素晴らしい、温かい音色を持っています。一方、僕がちょっと変わったことを提案しても、音楽的裏付けがあれば認め、楽しみながら高水準の演奏を実現してしまう凄腕集団でもあります。また、音楽監督に就任して、ヨーロッパでも老舗の古楽演奏団体としての存在感の大きさを実感しています。僕がやるべきは、「今の形のままでいいのか」と問いかけることです。そして今、世界のなかで音楽が果たせるポジティブな役割とは何か、を絶えず考えています。

今回の音楽堂でのプログラムは『バッハとその時代』をテーマに、バッハ不朽の名曲「ブランデンブルク協奏曲第5番」をはじめ、「ヴァイオリン協奏曲第2番」「ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲」等と、バッハの友人ビゼンデルや、フラウト

トラヴェルソンの名手ビュファルダンら、彼に影響を与えた人物の作品も交え、当時の人間関係までを可視化するものです。「インタビュ協力」池田卓夫音楽ジャーナリスト」

佐藤俊介のヴァイオリン^{卓越した}テクニックを聴かせるソロと、固い信頼関係で結ばれたアンサンブルの妙を、約1年間の改修工事を経て芯のある美しい響きが磨かれた音楽堂で、是非ご体感ください。

*オランダ・バッハ協会管弦楽団 バッハ全曲演奏プロジェクト All of Bach (allofbach.com/en)

音楽堂ヴァルトゥオーゾ・シリーズ24

佐藤俊介とオランダ・バッハ協会管弦楽団

2019年9月29日(日) 15:00 神奈川県立音楽堂

出演: 佐藤俊介(音楽監督・ヴァイオリン) オランダ・バッハ協会管弦楽団
[プログラム]

J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲第5番 ヴァイオリン協奏曲第2番
ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲

ビゼンデル: ダンスの性格の模倣 他

全席指定 一般6000円 シルバー(65歳以上)5500円 学生(24歳以下)3000円

*車椅子席あり(付添1名無料) *未就学児入場不可 託児サービスあり

*開場開演前 無料シャトルバスあり、前川建築見学ツアー開催。詳細はHPにて

[ヴァルトゥオーゾ・シリーズ関連企画]

街なかトークカフェ 第2回 7月17日(水) 14:00 料金2000円(ドリンク付)

講師: 曾根麻矢子(チェンバロ) ナビゲーター: 田中 泰



青島広志の「カルメン」の魅力をご紹介します。

楽しく分かります「カルメン」の魅力をご紹介します。

オペラ映画「カルメン」特別上映会

テレビやコンサートでおなじみの作曲家・指揮者、青島広志による、毎回大人気の名作オペラ講座。今年はそのホールはしもとと県民ホールの2か所で開催。実力派オペラ歌手によるオペラ・アリアの生演奏を交えながら、軽妙な語り口で



青島広志 ©Gakken Plus



FOCUS

オペラ史上最も愛される不朽の名作「カルメン」。10月の上演に先がけて、その聴きどころや魅力を先取りする多彩なイベントが開催されます。

オペラ映画「カルメン」特別上映会

ビゼー渾身のオペラを名匠フランチェスコ・ロージ監督が全編アンダルシア・ロケにより完全映画化。ドン・ホセ役はブラシド・ドミンゴ。アントニオ・ガデス振付によるフランメンコ・シーンも必見！

青島広志のたのしい名作オペラ講座

オペラ「カルメン」の魅力

神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ 「カルメン」がもっと楽しくなる！ 多彩なイベント

神奈川県民ホール

オペラ映画「カルメン」特別上映会
2019年8月31日(土) ①10:30 ②14:00
〈小ホール〉
全席自由 前売2500円 当日2900円
楽学会 03-3498-2508 (平日9:30~17:30)

青島広志のたのしい名作オペラ講座
オペラ「カルメン」の魅力
①2019年9月25日(水) 14:00
杜のホールはしもと 〈ホール〉
②2019年9月28日(土) 15:00 〈小ホール〉
出演：青島広志(お話・ピアノ)
磯地美樹(メソソプラノ)
澤田浩一(テノール) 青戸知(バリトン)
ビゼー：オペラ「カルメン」より
ハバネラ(カルメン)/闘牛士の歌(エスカミーリョ)
花の歌(ホセ)/カルタの歌(カルメン) 他
全席指定 一般2000円
学生(24歳以下・枚数限定)1500円

未来に羽ばたくオペラ歌手たちによる
「カルメン」コンサート(アンダースタディによる)
2019年10月12日(土) 14:00 〈小ホール〉
全席指定 500円 休憩なし60分
*詳細は神奈川県民ホールHPで発表します。

公開リハーサル&ステージ見学(トーク付き)
参加者募集
2019年10月18日(金) 14:00
(本編約3時間+ステージ見学等) 〈大ホール〉
対象：「カルメン」公演チケット購入者
(チケット1枚につき本人1名)
定員：先着200名
申込：メール/FAX/往復はがき
締切：10月11日(金) 必着 ※定員になり次第締切
*詳細は神奈川県民ホールHPをご覧ください
神奈川県民ホール事業課 045-633-2028 (平日10:00~18:00)
までお問合せください。

制作インターン募集
2019年9月25日(水) ~ 10月20日(日) 予定
※スケジュールは応相談
対象：オペラ制作やアートマネジメントを学ぶ学生
(定員あり)
*詳細は「カルメン」インターン係 045-633-3721
(平日10:00~18:00)までお問合せください。



未来に羽ばたくオペラ歌手たちによる「カルメン」コンサート

ハバネラ、花の歌 闘牛士の歌など誰もが知る旋律の中から、選りすぐりの名曲を贈る約1時間のコンサート。出演者は、オーディションで選ばれ、「カルメン」本公演のアンダースタディを務める未来のオペラ歌手たち。フレッシュな演奏をどうぞ！

*アンダースタディ…オペラの稽古やリハーサルに参加し、練習代役として控えながら勉強する



神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2018「アイーダ」関連企画
未来に羽ばたくオペラ歌手たちによる「アイーダ」コンサートより

公開リハーサル&ステージ見学(トーク付き)参加者募集

オペラ「カルメン」のチケット購入者スペシャル特典！本番前の総仕上げとなる最終リハーサルと本番を翌日に控えたステージの見学をお楽しみいただけます。クリエイターやスタッフたちによる制作秘話も聞き逃しません。オペラ「カルメン」の世界を一緒に盛り上げましょう！

制作インターン募集

オペラ制作やアートマネジメントを学ぶ学生を対象に、制作インターンを募集します。オペラ制作の現場でプロのアーティストやスタッフと交流し、経験を積む貴重な機会です。ぜひご参加ください！

公開リハーサル&ステージ見学(トーク付き)参加者募集

オペラ「カルメン」のチケット購入者スペシャル特典！本番前の総仕上げとなる最終リハーサルと本番を翌日に控えたステージの見学をお楽しみいただけます。クリエイターやスタッフたちによる制作秘話も聞き逃しません。オペラ「カルメン」の世界を一緒に盛り上げましょう！

制作インターン募集

オペラ制作やアートマネジメントを学ぶ学生を対象に、制作インターンを募集します。オペラ制作の現場でプロのアーティストやスタッフと交流し、経験を積む貴重な機会です。ぜひご参加ください！

英国ロイヤル・オペラ2019年日本公演
神奈川県民ホール〈大ホール〉

G.ヴェルディ作曲「オテロ」全4幕

2019年9月14日(土)・16日(月・祝) 15:00

指揮:アントニオ・パッパーノ

演出:キース・ウォナー

舞台美術:ボリス・クドリチカ

衣裳:カスパー・ゲラルナー

出演:グレゴリー・クンデ(オテロ)

フラチュヒ・バセンツ(デズデモナ)

ジェラルド・フィンリー (ヤゴ)

C.F.グノー作曲「ファウスト」全5幕

2019年9月22日(日) 15:00

指揮:アントニオ・パッパーノ

演出:デイヴィッド・マクヴィカー

舞台美術:シャルル・エドワーズ

衣裳:ブリギッテ・ライフェンストウール

振付:マイケル・キーガン=ドラム

出演:ヴィットリオ・グリゴロ(ファウスト)

イルデブランド・ダルカンジェロ(メフィストフェレス)

レイチェル・ウィリス=ソレンセン(マルグリート)

全席指定 S 59000円 A 52000円 B 45000円

C 37000円 D 30000円 U29シート8000円

好評発売中 *U29シートは8/2(金)20時よりNBS WEB

チケットのみで発売開始

NBSチケットセンター 03-3791-8888

東京文化会館でも公演あり

(「ファウスト」9/12・15・18 「オテロ」9/21・23)



英国ロイヤル・オペラ「オテロ」

photo ROH / Cathrine Ashmore

英国ロイヤル・オペラ2019年日本公演 「オテロ」&「ファウスト」

神奈川県民ホール

世界五大歌劇場の1つ、英国ロイヤル・オペラ、
威風堂々4年ぶりの来日!



英国ロイヤル・オペラ「ファウスト」

photo ROH / Bill Cooper

世界に数あるオペラハウスの中でも、英国ロイヤル・オペラはその公演数、作品規模、出演するアーティストの顔ぶれにおいて世界で五指に入る実力を誇っています。特に、音楽監督を務める当代随一の名指揮者アントニオ・パッパーノは、オーケストラと合唱の水準を飛躍的に向上させ、世界初演作や意欲的な新演出にも積極的に取り組んでいます。いまや、英国ロイヤル・オペラに世界中の音楽ファンが注目していると言っても過言ではありません。

今回の日本公演では、二つの大作を上

演じます。まずは神奈川県民ホールで幕をあける傑作「オテロ」。シェイクスピアとヴェルディという二人の天才が生み出した難曲を、パッパーノが力強く牽引します。歌手には、「現代最高のオテロ歌い」と称されるグレゴリー・クンデをはじめ、美貌と美声を誇り、次世代の歌姫としてヨーロッパで注目を集めているフラチュヒ・バセンツなど現在望みうる最高峰の歌手が集結しました。

もう1作はグランド・オペラの大作「ファウスト」。オペラの一部は演奏会などでもお馴染みですが、その規模の大きさから上演が難しく、日本ではこれまで目にする機会が極めて稀な、幻の大作ともいえるべき作品です。今回の上演ではカットされがちなバレエの場面も含めてお披露目します。しかも、舞台を彩るのはヴィットリオ・グリゴロ、イルデブランド・ダルカンジェロという今をときめく華も実もあるスター歌手たち。現地ロンドンで15年もの長きにわたって愛されている、愛と魔法の世界を鮮やかに描き出した舞台「ティウツド・マクヴィカー演出」とともに、目にも耳にも美しく贅沢な時間が期待されます。

総合芸術であるオペラの魅力をあますところなく堪能できる2作品。どちらも見逃せません!



宮本益光



上野水香



2018年のファンタスティック・ガラコンサートより

3点とも ©Kiyonori Hasegawa

神奈川県民ホール年末年越しスペシャル ファンタスティック・ガラコンサート2019

神奈川県民ホール

今年のテーマは「オリンピック」&「ウィーン」!

日本を代表する音楽家、バレエダンサーが一堂に会し、贅沢なひとときをお届けする「ファンタスティック・ガラコンサート」。14回目となる今回は、2020年の開催が目前に迫る「オリンピック」と、2019年の日本オーケストラ友好150周年記念イヤーにちなみ音楽の都「ウィーン」をテーマに、心躍る音楽とバレエをお贈りします。

今年、華やかな美声を誇る名ソプラノ・幸田浩子と、世界の歌劇場で活躍するテノールのジョン・健・ヌッツォが初登場! 幸田浩子は『こうもり』よ

2019年12月29日(日)15:00 <大ホール>

出演:松尾葉子(指揮) 宮本益光(司会・バリトン)

幸田浩子(ソプラノ) ジョン・健・ヌッツォ(テノール)

石田泰尚(ヴァイオリン) 上野水香(バレエ)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他

ロッシーニ:オペラ『セヴィリアの理髪師』より「私は町の何でも屋」

J.シュトラウス:オペレッタ『こうもり』より

「侯爵様、あなたのような御方も」

ヴェルディ:オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」 他

全席指定 S 8000円 Sペア 15000円 A 6000円

B 4000円 C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

KAme先行8月24日(土) 一般発売8月31日(土)

リアテールの名アリアを、ジョン・健・ヌッツォはブッチーニの名曲「誰も寝てはならぬ」を、司会を務める宮本益光は『セヴィリアの理髪師』より陽気なフィガロのアリア「私は町の何でも屋」を歌います。毎回、新鮮な驚きをお届けしてくれるヴァイオリン・石田泰尚のスペシャルセッションや、東京バレエ団プリンシパルとして活躍する上野水香の美しいバレエも必見です。

華麗な音楽とバレエに酔いしれて、心華やぐ年末のひとときをお過ごしください!



2期展(工芸)ギャラリートーク



2018年展覧会の様子

第55回 神奈川県美術展

神奈川県民ホール

全国から多くの力作が集まる神奈川県美術展。各部門の入賞・入選作品による展覧会を開催します。会期中には審査員によるギャラリートークもあり。当館の大規模なギャラリーに展示される多彩な作品をぜひご覧ください!



■本展 <ギャラリー> 入場無料 10:00~18:00 ※各最終日は14:00まで

1期展 [平面立体] 2019年9月4日(水)~15日(日)

2期展 [工芸・書・写真] 2019年9月18日(水)~29日(日)

ギャラリートーク 9/7(土) [平面立体] 10:30~11:30

9/21(土) [書] 10:30~11:30 [工芸] 13:30~14:30 [写真] 15:30~16:30

■厚木巡回展 厚木市文化会館 展示室 2019年10月2日(水)~12日(土) 10:00~17:00 ※10/7(月)、10/8(火)は休み

www.kanagallery.com/

共生共創事業



神奈川県では、県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」などの取組とマグネット・カルチャー(マグカル)をクロスさせ、年齢や障がいなどに関わらず、子どもから大人まですべての人が参加できる舞台公演などの事業“共生共創事業”を、みなとみらいの“県民共済みらいホール”を拠点として実施しています。

かながわ高齢者創作創造プロジェクト、まずは2企画が始動!!

かながわ高齢者創作創造プロジェクトとは

子育てや仕事を終えた皆さんと舞台創作の楽しさを分かち合い、「人生100歳時代」をより豊かにする試みです。横浜を中心に行うダンス企画と、横須賀など県内エリアで行う演劇企画を立ち上げます。若手のスタッフやサポートメンバーも募り、継続的な実施や発展を目指します。詳しくは、共生共創事業HPで随時お知らせします。是非ご期待ください。

ダンス企画「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」

横浜出身の世界的ダンサー・安藤洋子さんを中心にワークショップを重ね、高齢者の経験や存在感を生かした表現を目指します。5月よりワークショップを開催しており、今後は9月以降に本格始動します。年度末に成果発表を行う予定です。

演劇企画「横須賀シアター劇団」

横須賀を代表する演劇人・横田和弘さんを中心に、キャストだけでなくスタッフも募集し、シアターによる演劇創作を目指します。6月よりメーンバー公募、7月下旬に説明会を実施。8月下旬より週2回の稽古を行います。11月に中間発表、年度末に成果発表を行う予定です。



チャレンジ・オブ・ザ・シルバー



NPO法人ドリームエナジープロジェクト
「21番目の素敵な出逢い」

2019年8月4日(日) ①13:00 ②16:00

県民共済 みらいホール

全席指定 一般3000円 中学生以下2000円

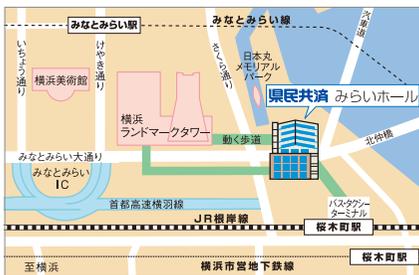
共生共創事業 第一弾

NPO法人ドリームエナジープロジェクト

「21番目の素敵な出逢い」

今年度の公演第一弾はNPO法人ドリームエナジープロジェクトによる「21番目の素敵な出逢い」です。

ドリームエナジープロジェクト(通称・ドリプロ)は神奈川県藤沢市を拠点に、知的・発達障がいのある子どもたちの社会参加を支援するために、障がいに関わらずともに生きる社会の実現を目指して事業を展開するNPO法人です。本公演はダウン症のあるパフォーマーたちによる演奏と、命の誕生をテーマにした、楽しくてジーンとくるオリジナル脚本の演劇の2本立てです。今回の上演はより多くの皆さんに「ともに生きる」大切さを知っていただくために、2年ぶりの再々演となります。ご期待ください。



access

県民共済 みらいホール 横浜市中区桜木町1-1-8-2 県民共済プラザビル1F

- JR 根岸線「桜木町」駅下車 徒歩約3分
- 横浜市営地下鉄「桜木町(県民共済プラザ前)」駅下車 徒歩約7分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅下車 徒歩約10分

※一部事業について、別会場で実施するものもございますので、必ず会場をご確認ください。※駐車場はございません。

主催：神奈川県 協力：神奈川県民共済生活協同組合 公式サイト kyosei-kyojo.jp



ともに生きる社会 かながわ憲章
障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します



ともに生きる社会かながわ憲章

検索





©Akihiko Sonoda

日本のフリージャズを牽引する山下洋輔

音楽の小箱

フリージャズが生まれた理由

知れば、
知るほど、
好きになる

音楽は世相を映すというが、それはジャズも例外ではない。ルイジアナ州ニューオーリンズで誕生したジャズは、黒人文化とヨーロッパ文化が融合した新しい音楽であり、植民地時代に共存した多様な人種と環境が生み出した産物だった。今も昔もジャズを語る上で大切な即興性をはじめ、この時代に生まれたジャズの主だった要素は、現代に至るまで脈々と受け継がれている。

ミシシッピ川を渡りシカゴやNYでも隆盛を極めたジャズは、形を変え洗練されながら大衆音楽へと成長。スウィングジャズからモダンジャズへ、酒場のダンス音楽から現代的で

お洒落なものへと移り変わっていった。しかしそれは、ジャズが最も華やかだった50年代までの話である。

数多の社会問題による強い不安感と政治への不信感が横溢した60年代の米国は、カウンターカルチャーの成長を助長する要因だらけ。そうしてヒッピー文化、ビートルズやボブ・ディランの奏でるロックやポップスに紛れて静かに生まれたのが、フリージャズだった。飽和状態を迎え、確固たる地位を失い始めたジャズに必要なだったもの、それはあらゆる束縛からの解放であり、伝統や秩序の破壊。コード・リズム・メロディ、楽器の奏法すら無視した奇想天外な新しい音楽の創

造は、得てして即興を重んじるジャズの純粋性への回帰でもあった。世界が混沌を迎え変化する時、既存のものには破壊され刷新されるのが常だ。

フリージャズの持つ前衛的な芸術性や精神性は、時に理解の難しいものとして捉えられる。楽しむコツは時間芸術としての音楽を何にも囚われず感じることに。頭でっかちにならずにまっぴらな勿体ない。今ここに、あるがまま。そんなマインドフルネスな音楽の楽しみ方を提供してくれるのも、このジャンルの魅力である。

文：濱安紹子

*音楽堂アフタヌーン・コンサート 山田和樹指揮 東京混声合唱団「合唱 meets ジャズ!」8/23(金)に山下洋輔が登場。詳細はP6-7にて

楽器ミュージアム

ヴィオラ・ダ・ガンバ

ヴィオラ・ダ・ガンバ（伊語で「脚のヴィオラ（ヴィオール）」の意）は、16～18世紀のヨーロッパで盛んに演奏された古楽器。その名が示すように楽器の胴体を両脚の間に挟んで構え、弓で弦を擦って奏でます。床に刺して楽器を支えるヴァイオリン属のチェロによく似ていますが、ギターに近い楽器です。

羊腸の弦は、通常ギターと同じ6本（ヴァイオリン属は4本）。調弦もヴァイオリン属の5度に対してギターと同じ4度です（中央の1か所は3度）。指板にはフレットがあります。

本体はチェロよりも厚く、なで肩、裏板は平らです。本体中央で弦を支える駒は、ヴァイオリン属よりも

平らで、ひと弓で同時に複数の弦に触ることができます。駒の両脇にある響孔はヴァイオリン属の「f」ではなく「C」の形です。

音域の異なる複数のサイズがあり、メインは音域の高い方からトレブル、アルト、テノール、バスと充実しているため、ガンバのみの合奏も可能です。

弓は、馬のしっぽの毛でつくられ、掌を上に向けて下から木部と毛を支えて持ちます。

ガンバの誕生はヴァイオリン属より早い15世紀末。ルネサンス、バロック時代もっとも普及した楽器の一つとして、王侯貴族のたしなみとして、また教会などで演奏されました。し



弦長は、独奏楽器として使われるバスで約70cm、テノールは約60cm、アルト約50cm、トレブル約40cm。弓の長さは75～77cmほど

かし、18世紀末頃から、大きな演奏会場で響き渡る華やかな表現力が楽器に求められるようになると、繊細な響きのガンバは姿を消していきます。しかし、20世紀からの古楽器が再評価されるようになり、ガンバも復活を遂げ、今日では多くの奏者や楽器製作者が活躍しています。



イラスト：遠藤裕喜奈

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ 「ファウスト」

1770年秋、シュトラスブルク大学の法学生だったゲーテは友人に連れられ、30キロほど離れたゼーゼンハイムを訪れ、村の牧師の娘フリーデリーケ・ブリーオン嬢と出会います。21歳の文学青年と18歳の少女との恋愛から「5月の歌」や「野ばら」などの傑作が生まれ、この時、詩人ゲーテが誕生するのです。

出会いからほぼ1年後の71年8月、ゲーテはフリーデリーケのもとから黙って去って去っていきます。学位をとって、フランクフルトへ帰郷するのです。自分勝手なエゴから、純真な乙女を傷つけたゲーテ。実は、世界中で愛唱される「野ばら」は、若い男が野薔薇を気ままに折ってしまう歌なのです。

童は折った 野なかの薔薇

折られてあわれ 野なかの薔薇

ゲーテはフリーデリーケ嬢への罪悪感に生涯苦しめられます。ゲーテが60年かけて完成させたドイツ文学の傑作「ファウスト」のヒロイン、グレートヒエンにも彼女の面影が反映しています。

悪魔メフィストと契約したファウストは、素朴な街娘グ

レートヒエンと恋をし、子どもを身籠らせませす。しかし、彼に捨てられた彼女は生まれたばかりの子どもを水に沈め、赤子殺しの罪で死刑に処されてしまいます。

さまざまな冒険の後、ついにファウストにも死が訪れます。メフィストがファウストの魂を奪い取ろうとするその時、天使の一群が現れ悪魔を焼き払い、ファウストを天上へと連れて行くのです。その中にかつてグレートヒエンと呼ばれた霊がいたのでした。ゲーテは「ファウスト」に全精力を注ぎ、完成の翌年1832年3月22日に生涯を閉じます。悲劇「ファウスト」は「永遠なる女性の魂が我らをより高きへと引き上げる」という言葉で締めくくられています。なお、フリーデリーケは、1813年に61歳で世を去るまで生涯を独身で過ごしました。

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ
Johann Wolfgang von Goethe (1749～1832)

ドイツの詩人、劇作家、小説家。代表作は小説「若きウェルテルの悩み」、「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」など。自然科学者として「色彩論」、「植物変態論」など。政治家としてヴァイマル公国の宮廷顧問なども務めた。

Creative Neighborhoods
街と住まい

第7回

歴史的資産を活かしたまちづくりを
「藤野のプロジェクト」



古民家ツアー 登録文化財神原家長屋門前でご当主 神原武男さんに説明いただく 2011年3月



修復体験で甦った土蔵も見学先に加えた 2011年3月

大野 敏
1962年群馬県生まれ。横浜国立大学卒業後、文化財建造物保存修復の現場で歴史的建造物の調査研究と保存修復に14年間携わる。1998年10月より横浜国立大学にて日本建築史や建造物保存修復の講義を行いながら、歴史的建造物保存継承の実践のため全国を飛び回っている。

藤野の歴史的建造物めぐり

ふじの里山くらぶ・横浜国立大学・相模原市の協働事業で作成した解説冊子 2015年3月

横浜国立大学と津久井郡藤野町（現相模原市緑区）の間わりは60年に及ぶ。発端は、牧野地区で昭和30年代初期に行つた古民家調査である。その成果は、古民家の建築年代を推定する様式編年手法として、民家史研究に大きな足跡を残した。その後、昭和50年代前半に津久井郡内の近世民家調査を行い、古民家が養蚕主体に変化発展した経緯を明らかにした。平成16年、藤野町の依頼で近世民家確認調査を行った結果、藤野地域は過去の調査対象の6割以上47棟が現存することが判明した。ただしこの中で文化財として価値付けされたのは1件だけで、多くの所有者は「歴史的資産を所有している」意識がなかった。そこで、古民家の魅力を所有者や地域の方々に周知するべく、すまいとしての古民家の履歴に注目した評価を試み、それをもとに国の有形登録文化財による顕彰を構想していた。なお、この地域は、かつての養蚕盛行にともなう生活文化を良くとどめ、古民家を含む歴史的環境の中で、本当の「おもてなし」が実感できる点も魅力だった。ちょうど平成16年は、藤野町商工会を中心に「都会の人たちに藤野を楽しんでもらう」ことを支援する地域づくり組織「ふじの里山くらぶ」（以下里山くらぶ）

が発足した。早速筆者は同くらぶ幹部に「藤野の魅力は古民家を含めた歴史的資産とそれを継承する人にある」と訴えた。その結果「藤野の魅力再発見」と題した古民家ツアーを試行した（平成17年3月）。大学は調査実績をもとに案内役となり、里山くらぶは見学先調整や郷土食の昼食提供、古民家での抹茶体験、バス移動中のガイド役を担った。現地では所有者にもご説明いただいた。参加者は予想を大幅に超え100名に達した。ツアーの最後は意見交換会で、古民家所有者4名と建築学科教員7名がパネルとして登壇し、藤野の魅力とその継承について、参加者全員で活発な議論を行った。

「藤野の魅力再発見（古民家ツアー）」は、平成30年度に15回を迎えた。この間、里山くらぶと横浜国大の連携は土蔵体験修理、郷土資料館ふじや保存活用、エコミュージアム構想などに拡大し、国登録有形文化財3件5棟も実現した。調査進展が新たな見学先を開拓し、旧相模湖町や旧津久井町の歴史的資産も加え、秋の恒例行事として定着した。

是非今年の古民家ツアーに注目して欲しい詳細は今後ふじの里山くらぶHPに掲載予定。



かながわ
芸能
●
歳時記

第20回

山あいの夏を彩る獅子舞
とや
鳥屋の獅子舞

(相模原市緑区／諏訪神社／8月)



鳥屋の獅子頭は、全体の形が細長く、「重箱獅子」とも呼ばれている

*せせら…多数の溝を彫った竹製の棒を、細い棒でこすって音を
出す楽器。
協力…相模原市教育委員会
写真提供…相模原市教育委員会

住所：神奈川県相模原市緑区鳥屋1140 諏訪神社
交通：JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「鳥居原ふれあいの館」行きバス
(橋07系統)「鳥屋郵便局前」下車 徒歩2分
日程：令和元年8月10日(※雨天時は11日に延期)
お問合せ：相模原市役所 鳥屋出張所 042-787-0611

鳥屋の獅子舞は、毎年8月の第20曜日

に、諏訪神社にて午後4時頃に奉納されま
す。江戸時代の初め頃に、天台宗清真寺の十
世住職円海法印が武州八王子から伝えた
とされ、県指定無形民俗文化財に指定、市
登録無形民俗文化財に登録されています。

獅子頭は円海法印自らが彫ったものと
いわれ、父獅子の下顎の裏側には「円海」
の銘があり、この頭は昭和60年まで使わ
れていました。

当日は、万灯が先導する山車、御輿など
が、獅子宿から神社まで賑やかに練り歩
きます。父獅子、母獅子、子獅子からなる
一人立ち三匹獅子舞で、せせら*子三人と笛
唄い手が複数つきます。父獅子、子獅子は
腹に太鼓を付け、母獅子はせせらを持ち、
舞は筵の上のみで行われ、筵から筵へと跳
躍し、体を上下に振る激しい舞です。舞の
後には、獅子に付けられた五色の飾り紙
が魔除けとして見物人に配られます。

●同時期9月開催のその他の祭り

御霊神社の面掛行列鎌倉市坂の下御霊神社9月18日
遊行寺の踊り念仏藤沢市西富清浄光寺遊行寺9月23日

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
モーツァルトと管楽器

2019年10月26日(土) 15:00 神奈川県立音楽堂
チャールズ・ナイディック(指揮・クラリネット)
R.シュトラウス/13管楽器のためのセレナード
モーツァルト/クラリネット協奏曲、セレナード第10番「グラン・パルティータ」
全席指定 S 4000円 A 2500円 B 1500円
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10:00-18:00)
www.kanaphil.or.jp/ @kanagawaphil @instagram.com/kanagawaphil

神奈川近代文学館

「わたしのワンピース」50周年
西巻茅子展 子どものように、子どもとともに

2019年7月20日(土)～9月23日(月・祝) 開館時間9:30-17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜日(8/12、9/16、9/23は開館) にしまさかやこ
半世紀・親子三代にわたって愛されている西巻茅子の絵本『わたしのワ
ンピース』を中心に、子どもの心に寄り添って描かれた西巻の絵本の魅力
を紹介します。観覧料：一般500円(65歳以上、20歳未満割引あり/中学生以下無料)
TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山
柚木沙弥郎の「鳥獣戯画」

2019年7月13日(土)～9月8日(日)
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(7/15、8/12は開館)
観覧料：一般600円 20歳未満・学生450円 65歳以上300円 高校生100円
同時開催：企画展「みえるものむこう」
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp/

神奈川県文化課

マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー公演
ナイトショー～プラチナ盤～

舞台芸術の分野で活躍する人材を育成する、神奈川県の「マグカル・パ
フォーミングアーツ・アカデミー」。ダンス、歌、演技のレッスンを通じ、
舞台への夢を追うアカデミー生が、今年の夏も、等身大の自分たちを
描く舞台を上演します。若者たちの熱い舞台を、ぜひご覧ください。
会場：神奈川県立青少年センター 紅葉坂ホール 上演日時：8月15日(木)
19:00、16日(金) 14:00・19:00、17日(土) 13:00・18:00、18日(日) 13:00
全席自由 一般前売2000円 一般当日2500円 大学生以下前売800円
大学生以下当日1000円 TEL.045-263-4475(神奈川県文化課紅葉ヶ丘駐在事務所)

REVIEW

神奈川県民ホールオープンシアター2019

2019年6月2日(日) 神奈川県民ホール



東京バレエ団 はじめての『白鳥の湖』 ©長谷川フォトプロ

オルガンとうたのコンサート

©岩田えり

展覧会「ワタリドリの湖」

©岩田えり

毎年恒例のオープンシアター。今年の神奈川県民ホール大ホールでは、東京バレエ団による「はじめての『白鳥の湖』」を上演。神奈川県フィルの生演奏、分かりやすいお話付きで、第3幕の舞踏会の場面を中心に華やかな『白鳥の湖』の世界をお楽しみいただきました。小ホールでは、「ひびきがいっぱい!オルガンとうたのコンサート」を開催。中田恵子(オルガン)と山本耕平(テノール)が、「千の風になって」などを演奏し、「さんぽ」では子どもたちの歌声も会場に響きました。他にも、旅をテーマに日本各地でユニークな活動を行っている二人組のアーティスト、ワタリドリ計画による展覧会「ワタリドリの湖」とワークショップ、お気に入りの本を持ち寄り紹介する「ビブリオバトル」、オーケストラピット見学、オルガン見学など、多彩なイベントが行われ、さまざまな角度から劇場を楽しめる1日となりました。

お客様の声

子どもと一緒に楽しく鑑賞しました。お話が分かりやすく、永井美奈子さんの司会も素敵でした。(30代女性)

最高でした!バレエに詳しくない娘(小4)も解説付きで内容がよく理解できたと思う。衣裳も華やかでもちろん踊りもすばらしく、非日常でとても楽しめました。(40代男性)

普段見られない部分を見せていただきとても楽しかったです。(10代女性)

就学前の子どもが入れる公演が少ないので嬉しいです。(70代女性)

公益財団法人神奈川県芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川県芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川県芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/アサヒビール株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス株式会社NHKアート/株式会社勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社株式会社神奈川保健事業社/神谷コーポレーション株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー株式会社KSP/株式会社合同通信/コトキシーティング株式会社/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/日本発条株式会社株式会社野毛印刷社/パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーティスト/横浜新都市センター株式会社横浜信用金庫/弁護士法人横浜パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ(匿名:2社)

永年個人賛助会員 川村恒明 個人賛助会員 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/高岡俊之/中澤守正/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二/渡邊政彦(匿名:2名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社

(敬称略 2019年6月15日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/



神奈川県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャー略して「マグカル」の取組を推進しています。

マグカルQ

人生的一幕を、観に行こう。

神奈川文化プログラム



劇場の達人

ダブルキャストを楽しもう

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ 登録無料!
 MELMAG 無料配信
 KANAGAWA members チケットの先行予約が可能
 登録は WEB で! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
 神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
 WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
 MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL MAGCUL.NET

ご支援のお願い

公益財団法人 神奈川芸術文化財団

皆様のご支援が、 神奈川の文化と芸術を支える糧となります。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団は、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂を運営し、音楽・演劇・オペラ・ミュージカル・ダンス・伝統芸能の公演、美術展などの幅広いプログラムをお届けしています。これからも神奈川県内の文化・芸術を振興するとともに、神奈川から文化の発信を行なってまいります。皆様のおたがたいご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会員 (法人・個人) 年間を通じて財団の事業全般にご賛助。	個別協賛 (法人・個人) 特定の公演等に対してご協賛。
広告スポンサー 主催公演のチラシや当日プログラム、「神奈川芸術プレス」などへの広告。	団体鑑賞 主催公演のチケットを 福利厚生・販売促進等ツールとして。

弊財団への賛助会費(寄附金)には、税制上の優遇措置があります。

詳細・お申込み・お問合せ | 公益財団法人神奈川芸術文化財団 本部経営企画課 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル6階
 電話: 045(633)3760 FAX: 045(663)3714 www.kanagawa-arts.or.jp/support/ 撮影: 本多康司

Vol.149 (通巻153号) 2019年7月15日発行(寄附月15日発行) TEL 045-663-3711 FAX 045-663-3714 発行:公益財団法人神奈川芸術文化財団 企画・制作:公益財団法人神奈川芸術文化財団 / MOJOWORK (禁無断転載・複写) 無料配布

編集後記 音楽堂の、夏から秋にかけての充実した主催公演ラインナップをお聴き逃しなく! (お亀) 巻頭インタビューの「サイレンス」がとても楽しみで、川端康成氏の作品を読み漁っています。(maru) 冷房の効いた劇場で、涼しくてアートの夏の日を過ごしてみませんか。(倉)